

はつらつ
ところっこ

絵本が好き。その気持ちを一冊に



絵本作家

飯野 まきさん (市ゆかりの作家)

 所沢の好きなスポットを紹介
 略して
 とこズキ！

所沢図書館 吾妻分館



久米の自然を楽しみながら、吾妻分館まで散歩するのが、息抜きの定番。同館にはゆかりの作家として飯野さんの絵本がまとめられたコーナーもあります。

「絵本の全部が、愛おしいんです」。とチャーミングな笑顔で語るのは絵本作家の飯野まきさん。

飯野さんにとって、絵本はページの隅々まで愛おしいもの。風に舞う葉っぱ一枚にもどこに描けば物語の世界になじむのか、どんな描き方がふさわしいのか、使う画材まで、一つひとつ考えを巡らせる。細部にまで心を配り、自分が思い描く世界を丁寧に作り上げていく。その工程すべてに、絵本への愛情と読む子どもたちへの思いが込められている。

絵本への思いが芽生え始めたのは高校生の頃。本屋の絵本コーナーに通い、自分でも画用紙を折って絵を描き、本の形にして楽しんでた。

その後、大学で日本画を専攻し、卒業後も絵本を作りたいという思いを持ち続け、作品を作り続けてきた。すぐに仕事につながなくても、描くことは決して諦めなかった。時間をかけてゆっくり育んだ絵本への情熱が、今の飯野さんの創作を支えている。

飯野さんが大切にしているのは、自分の好きなものを好きという気持ちのままに表現すること。

しかし、自分が理想とする絵をいつも思いどおりに描けるわけではない。納得できなければ、何度も描き直す。それでも、目の前のものが持つ魅力を自分なりに表現したい。納得できる表現ができる

まで手を動かし、考え続ける。絵本の細部にまでこだわるのも、伝えたい世界を妥協せずに形にしたいからだ。

こどもを対象にした絵のワークショップなども精力的に行う。こどもたちと絵を描いたり、ものを作ったりする時間も、飯野さんにとってかけがえのないものだという。教えるというより、こどもと同じ目線に立ち、みんなが「楽しい」と感じられる場をつくってきた。

上手に描くことを求めず、一人ひとりの表現を大切にする。「結果じゃなくて過程。やっている時間が楽しかったら、できたものがどんなものであってもいいと思うんです」と優しくはにかみながら語る。大人には不思議に見える絵にも、その子だけが感じた世界がある。そこに目を向け、受け止めたいという。

絵本を作るときは、読み聞かせる場面を思い浮かべ、言葉を声に出しながら、ページをめくる間合いまで何度も確かめる。こどもが笑ったり、絵の小さな仕掛けに気づいたりする姿を想像し、世界を作り上げる。

いつもの部屋に居ても、絵本を開けば魔法使いにもなれるし、宇宙を旅をすることもできる。日常にある非日常の世界。そんな特別な時間も届けたいと考えている。

環境や年齢とともに変わっていく自分の感覚を大切に、その時々を思いを新鮮なうちに作品にしたいという。絵本が好きという変わらない気持ちを原動力に、これからも優しく愛に満ちた絵本の世界を作っていく。(取材：深町)

今月のプレゼントクイズ！

かむほどうまい、絶品武蔵野うどん！

肉汁つけうどん&もつ煮 (1,000円相当×20人)



今年の1月にオープンした、肉汁うどん専門店。豚肉のうまみとスルメ出汁をメインにした甘めのつゆと、店主こだわりの打ち方で作られた極太麺が見事に融合した一杯をぜひお楽しみください。

◎肉汁つけうどんまたは、肉汁うどんのどちらかをお選びいただけます。

●肉汁うどん 中
三ヶ島5-1634-2
☎090-5430-8670
(午前11時～午後3時
／月～木曜定休)

公式
Instagram

◆今月のクイズ

9・10・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？

◆応募方法 (11月10日(火)締め切り)

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年代⑥電話番号⑦11月号の感想を記入し、〒359-8501広報課(住所不要)に郵送・市HP(QRプレゼント)で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



▲市HP

読者感想文

- ねんりんピックの存在を初めて知りました。生き生きとしている高齢者の姿を見て、自分も長く楽しめるスポーツに挑戦しようと思いました。交流大会も楽しそうなので、こどもを連れて行ってみようかと思います(上新井・40代)
 - 私よりもずっと年上の方が生き生きとスポーツを楽しんでいるのを知りました。私も健康に気をつけて楽しく生きられるようにしたいです！所沢の健康寿命が県内の人口15万人以上の市町村で1位なのも驚きでした(上新井・20代)
- 編集から●ねんりんピックは高齢の方だけでなく、さまざまな年代の方も楽しめるイベントです。みんなでのばそう、健康寿命！

- はつらつところっこ、チアの鈴木さん「笑っていただければいいよ」というご両親の言葉が印象的でした。周りの大人の前向きな声かけがこどもに大きく影響することを改めて感じました(向陽町・50代)
- 編集から●所沢の誇りとなるチアリーダーになりたいと語る鈴木さんの今後の活躍に期待です♪

- こどもがみんなのひろばに投稿したいと言っています。デジタルが多い中、紙の広報紙が続いてくれたら嬉しいと思います(下安松・50代)
- 編集から●みんなのひろばでは、素敵な写真やエッセイ、川柳をお待ちしています！

編集後記

● 今月のところっこは、絵本作家の飯野まきさん。さっそく息子に、飯野さんの作品のひとつ「さむいよちゅんっ」を読み聞かせてみました。やわらかで優しい絵と、かわいらしい世界観の絵本で、親子一緒に飯野さんが作る世界を楽しみました。飯野さんの温かくチャーミングな人柄を知った後に絵本を読むと、一層絵本の世界を楽しめるような気がします。次は何の本を読み聞かせようかなあ(深町)

● 森下卓さんにインタビューしました。著名な棋士の方を前に緊張しましたが、穏やかなお人柄に触れ、和やかな雰囲気でお話を伺えました。将棋の歴史にもとても詳しく、貴重な時間でした(平岡)

● ところざわまつりに、市公式カプセルトイのブースを出展。立ち寄ってくださった方々の素敵な笑顔を撮影させていただきました。市公式カプセルトイどこかで見かけたらのぞいてみてください♪(上地)